

<<米国 FDA による リコール情報（2026 年 7 月分）>>

2026 年 7 月に米国食品医薬品局（FDA）により発出された、食品、飲料、栄養補助食品のリコール情報は 17 件であり、その内訳は以下の通り。

リコール理由	件数
アレルゲン表示漏れ	10 件
有害病原菌の検出（サルモネラ 2 件、E.Coli 2 件、サイクロスポラ 1 件）	5 件
プラスチック片の混入	2 件

これらの 17 件のリコール情報のうち、ラベル表示におけるアレルゲンの記載がなかったものが 10 件、有害病原菌汚染（サルモネラ菌、E.Coli、サイクロスポラ）によるものが 5 件、であり、これら 2 つがリコール理由の 9 割弱を占めた。「企業名（Company Name）」をもとに確認したところ、日系企業にかかるとみられるリコール案件はなかった。

<アレルゲン表示漏れ>

米国に食品を輸出する際、アレルギー物質を使用している場合、その原材料名を明確に表示しなければならない。アレルゲン表示が義務付けられている 9 種の食品は、原材料リストに記載するだけでなく「CONTAINS：〇〇」とアレルゲン物質を表示する必要がある。表示が義務付けられているアレルギー物質は、乳、卵、魚（ヒラメ、タラなど）、甲殻類（カニ、ロブスター、エビなど）、ナッツ（アーモンド、クルミなど（注））、ピーナッツ（注 2）、小麦、大豆、およびゴマの合計 9 種類である。魚、甲殻類、ナッツについては、その種も明記する必要がある。

（注）2025 年 1 月、FDA は、「業界向けガイダンス：食品アレルゲン表示に関する質問と回答(第 5 版)」を発行しており、食品アレルゲン表示が必要な木の実のリストを従来の 23 種類から、12 種類に減らした。今後も継続して食品アレルゲン表示が必要となっている 12 種類の木の実のリストは以下の通り。

アーモンド、黒クルミ、クルミ（日本語名は西洋グルミ、またはペルシャグルミ）、ブラジルナッツ、カリフォルニアクルミ、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、ハートナッツ（日本クルミ）、マカダミ

アナッツ、ピーカンナッツ、松の実（パインナッツ）、ピスタチオ（注2）ピーナッツは引き続き主要アレルゲンの一つでアレルゲン表示が必要である。ピーナッツの分類は「木の実」ではなく、「豆類」であるため、12種類の木の実のリストには含まれない。

今回のリコール案件のうち2件（同一企業による）は、英語によるラベル表示（原材料、栄養成分、またはアレルゲン情報の記載）がない、外国語のみのパッケージの製品であり、当該製品にアレルゲンが含まれていても消費者にわからないため、アレルゲン記載漏れによるリコール対象となった。米国で販売する製品のラベル表示は英語で行う必要がある。

<有害病原菌の検出>

ボツリヌス菌、カンピロバクター、O157:H7 およびその他の腸管出血性大腸菌、リステリア菌、サルモネラ菌やマイコトキシン等の有害細菌が食品に含まれると、広範囲かつ重篤な食中毒の原因となる可能性がある。

今回、サイクロスポラのためにリコールとなった製品はメキシコ産のアイスバーグレタス（玉レタス）である。

サイクロスポラに感染すると、多くの場合は下痢や頻繁な排便といった症状が現れる。その他の一般的な症状としては、食欲不振、体重減少、胃のけいれんや痛み、腹部膨満感、ガスの増加、吐き気、疲労感などが挙げられる。また、嘔吐、体の痛み、頭痛、発熱を伴うこともある。感染しても症状が出ない人もいる。これらの症状や合併症は、数日から1ヶ月、あるいはそれ以上にわたって続くことがある。

この夏、米国では複数の州にまたがるサイクロスポラ集団感染が起きている。2026年8月13日時点での [FDA の発表](#)によると、サイクロスポラ感染に関連する総症例数は、17州から9,481件報告されている。

<プラスチック片の混入>

今回リコール対象となった製品は、犬用缶詰と、内部包装の不具合により製品内に食品グレードの柔らかいプラスチック片が混入する可能性があるフルーツピューレ・パウチであった。

犬用缶詰の当該製品は、金属やプラスチックの異物が混入している可能性があることから、製造企業は廃棄処分のため第三者業者に送付していたが、その後、当該製品が不正に流用され、米国内の市場で販売された形跡があるとされている。フルーツピューレ・パウチは、包装資材サプライヤーによるパウチのリコールを受け、製造企業が当該包装資材を使用した製品の検査を行ったところ、少数のパウチ内部に食品グレードの柔らかいプラスチック片が付着していることが確認された。

出所：[リコール、市場からの撤退、および安全に関する警告](#)（英語）

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。米国輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、米国輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先：

米国輸出支援プラットフォーム（ジェトロロサンゼルス事務所）

TEL：1-213-624-8855

Email：lag-USPF@jetro.go.jp

Eureka Global Solutions 作成